

## 富士紀行（43） 富士学校のシンボル「3人像」

富士学校のシンボルは富士山であることに異論はないが、実は富士学校の本来任務が普通科、特科、機甲科に関する学生教育・調査研究であり、世界に冠たるコンバインド スクールであることを象徴するものとしてのシンボルが、資料館においてある。此ぞ我々が「3人像」と呼んでいる富士学校のシンボルである。

小銃を右手にして、右膝をついて、左手で敵を指さす普通科の小銃小隊長その左後ろに小銃小隊長の指さす方向をきつと唇をかみしめて両手の眼鏡で、射撃目標を確認せんとする特科部隊の前進観測幹部、そして戦車服姿も凛々しい戦車小隊長のそれぞれ概ね等身大の3人像である。

### ● 作成の由来等

富士学校創立30周年記念事業の一環として、普通科、特科、機甲科の総合職種学校としてのシンボル像を作成して、資料館に置こうとの発案がなされた。当時の学校長指導で、若き幹部の戦闘服装による立体像を作成するという事になった。

制作を西伊豆町出身の著名な彫刻作家、堤達雄氏に依頼、モデルは、当時、富士学校幹部初級課程（BOC）に入校中の普通科、特科、機甲科の学生の中から、慎重審査の結果後述の3名が選考された。制作に要した費用は、不詳であるが、富士学校の協力団体である須走彰徳山林会から寄贈を受け、昭和59年の開校30周年記念日の資料館落成にあわせてお披露目された。

モデルの3人は、普通科：丸田弘史3尉（当時沖縄第1混成群、現在第4師団司令部第二部）、特科：高山和士3尉（当時上富良野第4特科群、現在空挺団所属）、機甲科：黒木新司3尉（当時、大和第6戦車大隊、現在防衛大学校）、であり、現在3人とも3等陸佐である。



- 制作者について

制作者の堤達雄氏は、東京美術学校卒業生で、日展会員、日彫会会員出もある。〈BR〉西伊豆方面の美術館等に数多くの作品を制作しておられ、天城峠にある「伊豆の踊子の像」を作成したことでも知られている。

- 富士学校に色々な形で御協力・御支援頂いた方に3人像を模した記念の盾をお贈りしている。